

社会科学習指導案

指導者 北広島町立芸北中学校
教諭

- 1 日時 令和 年 月 日 () 校時
- 2 場所 第3学年教室
- 3 学年 第3学年 (男子 名 女子 名 計 名)
- 4 単元名 日本国憲法と基本的人権
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説社会編「公民的分野」のC「私たちと政治」（1）「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」を受けた構成した単元である。この項目では、日本国憲法の基本的な考え方及び我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われることの意義について理解を深めさせることができるようにすることを主なねらいとしている。特に、人間尊重についての考え方を基本的人権を中心に深めさせる。基本的人権には、自由権や社会権、さらに社会の発展にともなって認められた新しい人権があり、それがなぜ重要なのか具体的な事例を通して理解させるとともに、基本的人権は、日本国憲法第 13 条の「個人の尊重」を根本としていることを理解し、自他の権利を尊重する精神と態度を養うことも大切なねらいである。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、授業に対して積極的に取り組んでいる。公民的分野では、情報化社会や少子高齢化社会など、授業で学習する内容と自分の生活や、既存の知識を関連付けて考えようとする生徒が多く見られる。しかし、生徒が日常生活で意識することがあまりないと思われる政治分野の内容の学習や、これからの未来を考えるなどの発展的な内容を扱う内容では学習に対する意欲は低くなりがちで、意見を発表したり交流したりする際の発言は少なくなる傾向にある。平成 29 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査及び、平成 31 年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で下の表のような結果が得られた。

表 生徒質問紙の調査結果

H29「基礎・基本」定着状況調査	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	22.2%	55.6%	22.2%	0%
H31 全国学力・学習状況調査	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1, 2 年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料、文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	7.7%	76.9%	15.4%	0%

これらのことから本学級の生徒は、積極的に自分の考えを伝えていると評価している生徒が多いと考えられる。また、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していることに対して肯定的に回答している生徒は 8 割を超える。しかし、授業の様子から見ると十分にできている生徒は少ないように考えられる。グループ活動や話し合い活動において、自分から積極的に意見を発表できにくい生徒、他の人の意見を聞くだけになっている生徒、話し合い活動に苦手意識を持っている生徒が半数程度いる。そのため、集団思考における学習が深まっていけないことがある。

(3) 指導観

本単元の学習では、自由権・平等権・社会権・参政権・請求権を学んだあと、環境権や知る権利など新しい人権を学び、最後に公共の福祉を扱う。教科書では、「人が生まれながらに持つ自由や

平等の権利を、基本的人権として保障しています。」とのべられている。また、参政権や社会権などは「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果（第97条）」であり、「国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。（第12条）」として紹介されており、自分を含む国民一人一人に人権が保障されているということをしっかりと捉えさせたい。

そのために、本学級の生徒の、「授業の内容と、自分の生活や既存の知識を関連付けて考える」というよさを生かして、歴史的分野で学んだ内容との関連を図り、生徒が課題を捉えやすいようにすることで、主体的に学ぶことができるようにする。具体的には、歴史的分野における「民主政治の来歴」や「人権思想の発達や広がり」などの観点から、それぞれの人権が保障されていなかった時代の出来事や事例を取り上げ、人権が保障されなかったことでどんな課題があったかを考察させ、人権の必要性を生徒に考えさせる。また、新しい人権や公共の福祉については、生徒の生活と関連付け、現在の社会においてどんな人権が保障されるようになっているのか、これから先どんな人権が保障されようになっているのかを考えさせ発表させることで、話し合い活動に苦手意識を持っている生徒にも主体的に発表させるようにしていきたい。これらの学習を通して、基本的人権は自分たちの生活と密接に関わっていることに気づかせたい。

6 単元の目標

○身近で具体的な事例を通して、民主主義や、法や法に基づく政治と基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方に対する関心を高め、それらを意欲的に追求し、民主的な社会生活について考えようとする。【関心・意欲・態度】

○日本国憲法によって国民の自由と権利が守られ、基本的人権の保障とその課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。【思考・判断・表現】

○民主主義や人間の尊重についての考え方と法に関する様々な資料を収集し、収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。【技能】

○人間の尊重の考え方について基本的人権を中心に理解し、その知識を身につけている。

【知識・理解】

7 単元の評価規準

ア) 社会的事象への関心・意欲・態度	イ) 社会的な思考・判断・表現	ウ) 資料活用 of 技能	エ) 社会的事象についての知識・理解
①人権思想のあゆみや、その系譜に連なる日本国憲法の11～13, 97条等を確認し、個人の尊重に対する関心を高め意欲的に学習しようとしている。 ②これから保障される新しい人権はどんなものか、興味を持って考えることができる。	①社会権と自分たちの生活のつながりを、具体例を示しながら説明している。 ②参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを説明している。 ③新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。 ④現代社会の様子と関連させて、人権保障の広がりについて考えている。	①資料から、男女の平等における課題を読み取っている。 ②現在もお存在する差別について情報を収集し、平等な社会を実現することの大切さをレポートにまとめている。	①自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるのかを、憲法の条文に照らし合わせて考えている。 ②環境権や国際的な人権保障の取り組みがどのようなものかを理解している。 ③基本的人権と公共の福祉の関係を理解している。

8 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
新しい人権が保障されるようになった背景を個人やグループで考察する。	多面的・多角的な見方・考え方	新しい人権が保障されるようになった背景や、今後どんな人権が保障されるかを、自分の生活や社会の変化と関連付けて具体的に説明できる。

9 指導と評価の計画（全10時）

次	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評 価 規 準	
一	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題の設定</div> 人権思想のあゆみと日本国憲法	○				○人権思想のあゆみや、その系譜に連なる日本国憲法の11～13, 97条等を確認し、個人の尊重に対する関心を高め意欲的に学習しようとしている。【ア①】	発表 行動観察 ワークシート
基本的人権と自分の生活とのつながりをまとめよう。							
二	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 自由に生きる権利				○	○自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるのかを、憲法の条文に照らし合わせて考えている。【エ①】	発表 行動観察 ワークシート
三	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 等しく生きる権利			○		○資料から、男女の平等における課題を読み取っている。【ウ①】	発表 行動観察 ワークシート
四	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 差別のない社会へ			○		○現在もなお存在する差別について、資料などで調べ、平等な社会を実現することの大切さをレポートにまとめている。【ウ②】	発表 行動観察 ワークシート
五	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 人間らしい生活を営む権利		○			○社会権と自分たちの生活のつながりを、具体例を示しながら説明している。【イ①】	発表 行動観察 ワークシート
六	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 人権の保障を実現するための権利		○			○参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを説明している。【イ②】	発表 行動観察 ワークシート
七 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集</div> 社会の変化と人権保障		○			○新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。【イ③】	発表 行動観察 ワークシート
八	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集・整理・分析</div> 広がる人権保障				○	○環境権や国際的な人権保障の取組がどのようなものを理解している。【エ②】	発表 行動観察 ワークシート
九	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・創造・表現</div> 公共の福祉と国民の義務		○		○	○公共の福祉によって人権が制限される場合を具体的に検討し、考えている。【イ④】 ○基本的人権と公共の福祉の関係を理解している。【エ③】	発表 行動観察 ワークシート

十	振り返り 基本的人権のまとめ	○			○これから保障される新しい人権はどんなものか、興味を持って考えることができる。【ア②】	発表 行動観察 ワークシート
	【まとめの例】 基本的人権は、人々が自由を求めて努力してきた成果であり、学校や買い物、SNSなど、生活の中のさまざまな場面で人権が関わっている。					

10 本時の学習

(1) 本時の目標

「新しい人権」にはどんなものがあり、どうして新しく保障されるようになったのか説明できる。

(2) 観点別評価規準

概ね満足であると評価される生徒の状況 (B)

新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。【イ③】

(3) 準備物

生徒…公民的分野教科書，ファイル，ワーク

指導者…ワークシート，ホワイトボード，新しい人権に関連する資料

(4) 本時の学習展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)
導入	1 前回までの基本的人権の復習をする。 2 最近の気になるニュースを聞き、あおり運転の犯人としてSNSで個人情報や拡散された女性のニュースを紹介する。 ・「プライバシーの権利」に注目して、この出来事が女性の人権を侵害していることを確認する。 ・「プライバシーの権利」は、新しい人権として保障されていることを確認する。 3 これらの新しい人権は、日本国憲法の第何条に書かれているかを確認し、前回のまとめとのギャップから、課題を見出す。 ・なぜ新しい人権は日本国憲法にあらわされていないのに、保障されているの？ 4 本時のめあてを伝える。	【予想される答え】 ・人権は憲法で必ずあらわされている。 ◇話があおり運転の事件の内容に流れないよう、簡潔な説明に済ませる。 ◆困難であれば身近な例を考えさせる。(例：プライバシーの権利が侵害されるのはどんなときだろう。) ◇前時のまとめとのギャップに気づかせるために、実際には、「プライバシーの権利」などの新しい人権は日本国憲法にはあらわされていないことに気づかせ、本時の課題意識を持たせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「新しい人権」にはどんなものがあり、どうして新しく保障されるようになったのか説明しよう。</p> </div>		

展開	<p>5 「新しい人権」の「新しい」という意味について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法で保障されている人権のうち、憲法に定められてはいないが、社会の変化に合わせて新しく保障されるようになった人権がある。 ・日本国憲法が施行されたころにはスマートフォンやインターネットは発達しておらず、新しく保障される必要があった。 <p>6 グループで話し合いを行い、意見をホワイトボードに書かせ、全体場で発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた意見を班で交流する。 ・自分が書いていない意見が出たときは書かせる。 	<p>◇新しい人権は、何もない状態から保障されたのではなく、既存の人権の解釈や組み合わせから保障されるようになったことを考えさせる。</p> <p>◇考察に関しては、日本国憲法の施行が現在からおよそ70年前であることを捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「新しい人権」があれば、「古い人権」もあるのかどうかを考えさせる。 ◆スマートフォンやインターネットは70年前もあったのかどうかを考えさせる。 ◆身近な事例を紹介し、生徒が考えやすいようにする。 	
まとめ	<p>7 今日の授業の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会の変化」は、スマートフォンやインターネットの普及、情報化社会などの言葉で表現されていてもよい。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人権にはプライバシーの権利や知る権利、自己決定権などがあり、社会の変化に合わせて人々の人権が新たに侵害されるようになったため、保障されるようになった。 </div> <p>8 時間に余裕があれば、新しい人権には他にも知る権利や自己決定権があることを教科書で確認する。</p> <p>9 次の授業予告をする。 これから先、保障されていくかもしれない新しい人権を考えることを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が一番わかりやすかった説明を書かせ、それに対する自分の意見を書かせる。 <p>◇書くことが困難な生徒には、口頭で発表させたり、教師が生徒の意見を聞き取る。</p>	<p>新しい人権がなぜ主張されるようになったのかを、社会の変化をふまえて説明している。</p> <p>【イ③】 発表 ワークシート</p>

1.1 板書計画

<p>本時のめあて</p> <p>◎なぜ女性は裁判を起こそうとした？Q. 「新しい人権」の「新しい」ってどういうこと？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前や住所が晒された。 ・SNSで犯罪者扱いされた。 ・嫌がらせをうけた。 <p>→プライバシーの権利</p> <p>↓ このような権利を…</p> <p>新しい人権</p> <p>これらの権利は日本国憲法の…</p> <p>条文にあらわされていない</p>	<p>「新しい人権」にはどんなものがあり、どうして新しく保障されるようになったのか説明しよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ホワイト ボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ホワイト ボード</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ホワイト ボード</div> </div> <p>まとめ</p> <p>新しい人権にはプライバシーの権利や知る権利・自己決定権などがあり、人々の人権が新たに侵害されるようになったため、保障されるようになった。</p> <p>次回…</p> <p>これから先、保障されるかもしれない新しい人権を考えてみよう</p>
--	---